

日程表

10月7日(土)

| 会議センター | | |
|---|----------------------|-----------------------|
| テルサホール (西館1F) | D会議室 (東館3F) | セミナー室 (東館2F) |
| 口演 (シアター形式) 第1会場 | 理事会 | 社員総会 |
| 13:00 | 13:00 ~ 14:20 理事会 | |
| 14:00 | | 14:30 ~ 15:30 社員総会 |
| 15:00 | | |
| 15:30 受付開始 | | |
| 16:00 | | |
| 16:30 | | |
| 16:00 ~ 17:00 (60分) 市民公開セミナー 座長: 金森 雅夫 演者: 浅見 敬子 | | |
| 17:00 | | |
| 17:30 | | |
| 17:00 ~ 18:00 (60分) 特別企画1 (市民公開セミナー) 学校保健およびスポーツにおける危機管理 座長: 立入 久和 演者: 小松 泰喜 篠原 靖司 | | |
| 18:00 | | |
| 18:30 | | |
| 19:00 | | |
| 20:00 | | |

10月8日(日)

会議センター

| | テルサホール(西館1F) | セミナー室(東館2F) | D会議室(東館3F) | 中会議室(東館2F) | 大会議室(東館3F) | |
|-------|--|--|---|---|--|--------------------|
| | 口演(シアター形式) 第1会場 | 口演(シアター形式) 第2会場 | 口演(シアター形式) 第3会場 | 一般口演(シアター形式) 第4会場 | ポスター・企業展示・ドリンクコーナー 第5会場 | |
| 9:00 | 開会式 9:05~9:25(20分) 大会長講演 座長:浅見 豊子 演者:金森 雅夫 9:30~10:00(30分) 基調講演 座長:金森 雅夫 演者:伊坂 忠夫 | | | | | 9:00~16:00 企業展示 |
| 10:00 | 10:10~10:40(30分) 特別講演 座長:大高 洋平 演者:浅見 豊子 10:50~11:50(60分) スポンサーセミナー1 各職種の視点から転倒予防対策を考える 座長:饗場 郁子 演者:黒川 美知代 村松 亜由美 坪井 歩 共催:パラマウントベッド株式会社 株式会社Magic Shields | 10:10~11:40(90分) 特別企画2 運動器疾患から転倒予防を科学するセミナー 座長:原田 敦 谷口 直史 山田 実 演者:川上 紀明 井上 敦夫 青山 朋樹 | 10:00~11:00(60分) 一般口演1 病院の転倒と予防1 座長:山内 希世 | 10:00~11:00(60分) 一般口演2 病院の転倒と予防2 座長:鮫島 直之 | | |
| 11:00 | | | 11:00~12:00(60分) 一般口演3 新しい着眼 座長:今枝 秀二郎 | 11:00~12:00(60分) 一般口演4 生活期の転倒予防 座長:安田 彩 | | |
| 12:00 | 12:00~13:00(60分) ランチョンセミナー1 フットケア・骨粗鬆症 座長:武藤 芳照 演者:高山 かおる 岩本 潤 共催:エーザイ株式会社 | 12:00~13:00(60分) ランチョンセミナー2 循環器疾患と転倒予防 座長:小川 純人 演者:吉田 哲郎 共催:第一三共株式会社 | 12:00~13:00(60分) ランチョンセミナー3 床材と効果 臨床応用 座長:牧迫 飛雄馬 演者:田中 敏明 伊藤 安海 共催:凸版印刷株式会社 | | 13:00~13:30(30分) ポスター1 新しい機器の開発・活用 座長:高野 渉 ポスター2 転倒リスク評価の開発・応用1 座長:半田 秀一 | |
| 13:00 | 13:00~13:10(10分) 会員協議会 13:25~13:55(30分) 教育講演1 座長:内田 泰彦 演者:中谷 俊治 | | | | ポスター3 病院の転倒と予防1 座長:森田 光生 ポスター4 病院の転倒と予防3 座長:田中 雅博 ポスター5 地域在住高齢者の転倒と予防 座長:村山 明彦 ポスター6 若年者等の転倒予防1 座長:射場 靖弘 | |
| 14:00 | 14:00~15:30(90分) パネルディスカッション1 “転ばれる”ことへの怖れを乗り越えて転倒予防を創造する 座長:梅原 里実 演者:征矢野 あや子 光岡 由紀子 山口 球 杉本 浩司 | 14:00~14:30(30分) 教育講演2 どうする厚労省!? 高齢化した労働者の転倒リスクに対して何が出来るか 座長:立入 久和 演者:澤田 京樹 14:30~15:30(60分) パネルディスカッション2 屋内の転倒・転落事故と傷害リスクの工学 座長:山本 創太 水野 幸治 演者:水野 幸治 伊藤 安海 杉浦 太紀 山本 創太 | 14:30~15:30(60分) 一般口演5 運動機能評価と転倒予防 座長:上内 哲男 | 14:30~15:10(40分) 一般口演6 疾患と転倒 座長:山田 茂樹 | 13:30~14:00(30分) ポスター7 転倒リスク評価の開発・応用2 座長:大坂 裕 ポスター8 施設・外来の転倒と予防 座長:油野 規代 ポスター9 病院の転倒と予防2 座長:奥泉 宏康 ポスター10 若年者等の転倒予防2 座長:大江 厚 ポスター11 転倒リスク評価の開発・応用3 座長:山之内 直也 ポスター12 病院の転倒と予防4 座長:安延 由紀子 | |
| 15:00 | 15:40~16:40(60分) スポンサーセミナー2 骨粗鬆症リエゾンチームの現状と課題 座長:萩野 浩 演者:木村 孝 山本 智章 共催:旭化成ファーマ株式会社 | | | 15:30~16:30(60分) 一般口演7 病院の転倒と予防3 座長:杉山 良子 | | |
| 16:00 | 16:40~17:40(60分) 特別企画3 骨粗鬆症と二次性骨折予防 座長:山本 智章 演者:山崎 薫 清水 恒良 鈴木 みずえ | | 16:00~17:30(90分) パネルディスカッション3 転倒予防の地域実践 座長:岡田 真平 小松 泰喜 演者:上岡 洋晴 北湯口 純 山口 潔 | 16:30~17:30(60分) 一般口演8 アセスメント方法の開発・改訂 座長:平松 知子 | | |
| 17:00 | | | | | | |
| 17:40 | 閉会式 | | | | | |

第1会場 ●テルサホール（西館1F）

<10月7日（土）>

市民公開セミナー 16:00～17:00

37

座長：金森 雅夫 羽衣国際大学人間生活学部 教授 / 立命館大学総合科学技術研究機構

1-PS ラグビーの魅力～Women in Rugby～

浅見 敬子（公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 副会長）

特別企画1（市民公開セミナー） 17:00～18:00

47

学校保健およびスポーツにおける危機管理

座長：立入 久和 たちいり整形外科 理事長

1-SE1-1 脳神経科学と競技スポーツ

小松 泰喜（日本大学スポーツ科学部 教授）

1-SE1-2 転倒とスポーツ外傷

篠原 靖司（立命館大学スポーツ健康科学部 教授）

<10月8日（日）>

大会長講演 9:05～9:25

35

座長：浅見 豊子 佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科 診療教授

1-PA 健康な長寿を求めて～転倒予防研究に関する未来への期待～

金森 雅夫（羽衣国際大学人間生活学部 教授 / 立命館大学総合科学技術研究機構）

基調講演 9:30～10:00

39

座長：金森 雅夫 羽衣国際大学人間生活学部 教授 / 立命館大学総合科学技術研究機構

1-KEY Foot Health から考えるウェルビーイングと健康長寿

伊坂 忠夫（学校法人立命館副総長・立命館大学スポーツ健康科学部 教授）

特別講演 10:10～10:40

41

座長：大高 洋平 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座 主任教授

1-SL リハビリテーション医療の新時代

浅見 豊子（佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科 診療教授）

スポンサーセミナー 1 10:50～11:50

共催：パラマウントベッド株式会社
共催：株式会社 Magic Shields

77

各職種の視点から転倒予防対策を考える

座長：饗場 郁子 国立病院機構東名古屋病院脳神経内科 臨床研究部長
座長：黒川 美知代 武蔵野赤十字病院 看護師長

- 1-SS1-1 医師の視点から転倒予防対策を考える
饗場 郁子（国立病院機構東名古屋病院脳神経内科 臨床研究部長）
- 1-SS1-2 転倒・転落対策におけるメーカーの関わり
奥 俊介（パラマウントベッド株式会社経営企画本部マーケティング部RoomT2(転倒転落研究会) 副代表）
- 1-SS1-3 A病棟の転倒再発予防に関する転倒検証プロジェクトの取り組みと職場に与えた影響の一考察
村松 亜由美（社会福祉法人聖隷福祉事業団袋井市立聖隷袋井市民病院）
- 1-SS1-4 当院回復期リハビリテーション病棟の転倒予防に向けた取り組み
坪井 歩（医療法人弘遠会すずかけヘルスケアホスピタルリハビリテーション技術部 部長）

ランチョンセミナー 1 12:00～13:00

共催：エーザイ株式会社

71

フットケア・骨粗鬆症

座長：武藤 芳照 一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所 代表理事/所長

- 1-LS1-1 足の爪変形と転倒リスク
高山 かおる（済生会川口総合病院皮膚科 主任部長）
- 1-LS1-2 転倒・骨折予防のための栄養指導と運動療法
岩本 潤（慶友整形外科病院骨関節疾患センター センター長）

教育講演 1 13:25～13:55

43

座長：内田 泰彦 三愛健康リハビリテーション内田病院 院長

- 1-EL1 バリアフリーの次は、転倒リスクフリーな建築を！ 建築士からみた転倒予防の課題
中谷 俊治（一級建築士事務所有限会社中谷俊治ステューディオ）

パネルディスカッション 1 14:00～15:30**57**

“転ばれる”ことへの怖れを乗り越えて転倒予防を創造する

座長：梅原 里実 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 准教授

座長：征矢野 あや子 京都橘大学看護学部・大学院看護学研究科 教授

1-P1-1 チームの心理的安全性と転倒予防

光岡 由紀子（滋賀医科大学医学部附属病院 精神看護専門看護師（リエゾン））

1-P1-2 ある病棟での身体拘束最小化の取り組み～怖れを乗り越えた先に見えたもの～

山口 球（松沢病院）

1-P1-3 「防ぎきれない転倒」に挑戦する組織づくり

～転倒予防アセスメントと介入フローの導入で根拠に基づいた転倒予防をする～

杉本 浩司（メディカル・ケア・サービス株式会社コーポレートコミュニケーション室 室長・認知症戦略部 部長）

スポンサーセミナー 2 15:40～16:40

共催：旭化成ファーマ株式会社

77

骨粗鬆症リエゾンチームの現状と課題

座長：萩野 浩 独立行政法人労働者健康安全機構山陰労災病院 副院長

1-SS2-1 Fracture Liaison Service における転倒予防について～理学療法士が考えていること～

木村 孝（大阪府済生会吹田病院リハビリテーション科 理学療法士，骨粗鬆症マネージャー）

1-SS2-2 日本における大腿骨近位部骨折の骨折リエゾンサービスの背景と実際～リープフロッグ～

山本 智章（医療法人愛広会新潟リハビリテーション病院 院長）

特別企画 3 16:40～17:40**47**

骨粗鬆症と二次性骨折予防

座長：山本 智章 医療法人愛広会新潟リハビリテーション病院 院長

座長：篠原 靖司 立命館大学スポーツ健康科学部 教授

1-SE3-1 大腿骨近位部骨折症例における二次性骨折予防継続管理料算定のための適切な評価とは

山崎 薫（磐田市立総合病院 病院長）

1-SE3-2 当院での骨粗鬆症リエゾンチームの取り組みと理学療法の観点からの二次転倒予防について

清水 恒良（社会医療法人畿内会岡波総合病院）

1-SE3-3 骨粗鬆症と二次性骨折予防における看護師の役割と多職種連携

鈴木 みずえ（浜松医科大学臨床看護学講座 教授）

第2会場 ● セミナー室（東館2F）

特別企画2 10:10～11:40

47

運動器疾患から転倒予防を科学するセミナー

座長：原田 敦 介護老人保健施設ルミナス大府 施設長

2-SE2-1 立位・歩行に影響を与える脊柱グローバルアライメント

川上 紀明（一宮西病院整形外科 脊椎側彎センター長）

座長：谷口 直史 山梨大学附属病院リハビリテーション科

2-SE2-2 変形性膝関節症と転倒～転倒予防のための最適な治療介入を考える～

井上 敦夫（京都府立医科大学大学院運動器機能再生外科学（整形外科））

座長：山田 実 筑波大学人間系 教授

2-SE2-3 足の形態，基本的機能，課題遂行能力，そして転倒との関係

青山 朋樹（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授）

ランチョンセミナー2 12:00～13:00

共催：第一三共株式会社

71

循環器疾患と転倒予防

座長：小川 純人 東京大学大学院医学系研究科老年病学 准教授

2-LS2 高齢・超高齢心房細動における転倒がもつ意味とは？～包括的に抗凝固療法の安全性を維持する～

吉田 哲郎（遠賀中間医師会おんが病院 副院長 兼 循環器内科 部長）

教育講演2 14:00～14:30

43

どうする厚労省!? 高齢化した労働者の転倒リスクに対して何ができるか

座長：立入 久和 たちいり整形外科 理事長

2-EL2 「労災」としての「転倒」の防止対策について

澤田 京樹（厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課 中央産業安全専門官）

パネルディスカッション 2 14:30～15:30**61****屋内の転倒・転落事故と傷害リスクの工学**

座長：山本 創太 芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科 教授

座長：水野 幸治 名古屋大学大学院工学研究科機械システム工学専攻 教授

- 2-P2-1 転倒時における大腿骨近位部骨折発生機序の検討と骨折リスクの力学的評価の進展
水野 幸治（名古屋大学大学院工学研究科機械システム工学専攻 教授）
- 2-P2-2 床材による転倒骨折予防～大腿骨骨折リスクに基づく床材評価理論と下地材の重要性～
伊藤 安海（山梨大学大学院総合研究部工学域機械工学系 教授）
- 2-P2-3 メカニカルメタマテリアルを用いた新たな挑戦
～歩行時は硬く、転倒時は凹んで衝撃を吸収する床“ころやわ”～
杉浦 太紀（株式会社 Magic Shields 取締役 COO / 理学療法士）
- 2-P2-4 階段のデザインと転落時傷害リスクの関係の力学的検討
山本 創太（芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科 教授）

第3会場 ●D会議室（東館3F）

一般口演1 10:00～11:00

87

病院の転倒と予防1

座長：山内 希世 東京共済病院医療安全対策室 師長

- 3-1-1 当院における転倒・転落アセスメントシートの転倒関連因子分析～看護業務省力化に向けて～
竹川 宜孝（医療法人朝日野会朝日野総合病院）
- 3-1-2 高齢期の転倒ヒヤリハットと転倒発生の実態調査
榎本 明日香（尼崎中央病院リハビリテーション科）
- 3-1-3 回復期脳卒中入院患者の個室と多床室における活動性と転倒発生率の比較
井上 靖悟（東京湾岸リハビリテーション病院）
- 3-1-4 高齢入院患者における転倒の既往と退院後1年間の転倒に関連する因子の検討
安延 由紀子（大阪大学大学院医学系研究科）
- 3-1-5 回復期病棟入院中における再転倒の実態と関連因子の探索的調査
石東 紗野香（洛和会音羽リハビリテーション病院）

一般口演3 11:00～12:00

95

新しい着眼

座長：今枝 秀二郎 株式会社日建設計総合研究所

- 3-3-1 スマートフォンアプリ TDPT-GT による歩容評価
山田 茂樹（名古屋市立大学脳神経外科学講座）
- 3-3-2 地域在住中高年者における腰仙椎矢状面アライメント不良と転倒リスクの関連～Yakumo study～
大出 幸史（名古屋大学整形外科）
- 3-3-3 新たな転倒リスク評価方法の提案と精度の検証
和田 直樹（国立研究開発法人産業技術総合研究所人間拡張研究センター運動機能拡張研究チーム）
- 3-3-4 EMS 使用による高齢者歩行速度の向上と転倒予防
森田 早紀（横浜市立大学救急医学教室）
- 3-3-5 健常高齢者における方向転換動作の特性に性差が及ぼす影響
渋川 佳彦（青森県立保健大学大学院健康科学研究科基礎研究・実用 技術領域）

ランチョンセミナー 3 12:00～13:00

共催：凸版印刷株式会社

71**床材と効果 臨床応用**

座長：牧迫 飛雄馬 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻基礎理学療法学講座 教授

3-LS3-1 高齢者の転倒予防のための検査・トレーニング・支援機器研究

田中 敏明（北海道科学大学教授・東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラムアドバイザー）

3-LS3-2 転倒骨折リスク低減床材の性能評価理論と標準化

伊藤 安海（山梨大学大学院総合研究部工学域機械工学系 教授）

一般口演 5 14:30～15:30**103****運動機能評価と転倒予防**

座長：上内 哲男 独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院リハビリテーション室 理学療法士長

3-5-1 視覚的フィードバックを用いた膝部能動的制限下での2週間の片脚立位練習は片脚立位時の下肢関節作用を変化させる

小原 謙一（川崎医療福祉大学リハビリテーション学部）

3-5-2 短時間リハビリテーションを利用している要支援者に対する多角的バランス運動プログラムの効果

兵働 弥大（医療法人尽心会百武整形外科）

3-5-3 歩行補助具選定のための運動機能の定量的指標の検討

西尾 大地（たちいり整形外科リハビリテーション科）

3-5-4 足部内在筋の母趾外転筋に着目した訓練が動的バランス機能に与える影響

佐竹 勇人（阪奈中央病院）

3-5-5 歩行レベル判断基準のための Timed Up & Go Test のカットオフ値の設定

相田 悠里（小平中央リハビリテーション病院）

3-5-6 歩行中の動的バランス評価に関する研究

山縣 俊亮（株式会社アシックススポーツ工学研究所）

転倒予防の地域実践

座長：岡田 真平 公益財団法人身体教育医学研究所 所長

座長：小松 泰喜 日本大学スポーツ科学部 教授

3-P3-1 地域におけるより質の高い研究実施のための標準的ガイドラインの理解

上岡 洋晴（東京農業大学大学院）

3-P3-2 地域社会の転倒・一次骨折予防に資する運動普及のエビデンス

北湯口 純（身体教育医学研究所うなん）

3-P3-3 地域診療所における転倒予防～ふらつき・転倒外来の経験から～

山口 潔（医療法人社団創福会ふくろうクリニック自由が丘）

第4会場 ● 中会議室（東館 2F）

一般口演 2 10:00～11:00

91

病院の転倒と予防 2

座長：鮫島 直之 国家公務員共済組合連合会東京共済病院脳神経外科 部長

- 4-2-1 二次救急病院の入院患者における転倒・転落例の調査
榎 恭央（十和田市立中央病院リハビリテーション科）
- 4-2-2 外来フロアマップを利用した転倒発生場所の把握とその対策について
仙波 彩（一般財団法人永頼会松山市民病院）
- 4-2-3 当院の整形外科・外科混合病棟における転倒・転落予防アセスメントシートの活用と入院時からの転倒予測
田畑 榎一（総合病院山口赤十字病院リハビリテーション技術課）
- 4-2-4 血液疾患患者における転倒転落の看護師がとらえた関連因子～インシデント報告から～
藤井 大地（滋賀医科大学医学部附属病院看護部）
- 4-2-5 急性期病院の経営指標と転倒発生率の関係
森田 光生（千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部）

一般口演 4 11:00～12:00

99

生活期の転倒予防

座長：安田 彩 日本大学病院リハビリテーション室

- 4-4-1 初回転倒の予測における Standing test for Imbalance and Disequilibrium の有用性
堀田 雅人（国立研究開発法人国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部）
- 4-4-2 訪問リハビリテーションを受けている地域在住高齢者に対する SFBBS の適応とカットオフ値の検討
河合 優真（医療法人寿山会喜馬病院）
- 4-4-3 在宅退院後に転倒恐怖感が生じる対象者の特徴について～二重課題遂行能力の変化に着目して～
山崎 雄一郎（丸木記念福祉メディカルセンター）
- 4-4-4 回復期病棟における歩行比と転倒リスク評価の関係性についての検討
赤坂 真司（介護老人保健施設ライフケアながやまりリハビリテーション課）
- 4-4-5 回復期リハビリテーション病棟における排泄行動に着目した転倒予防対策の取り組み
糸原 洋子（市立福知山市民病院）

疾患と転倒

座長：山田 茂樹 名古屋市立大学脳神経外科 講師

- 4-6-1 通院透析施設における転倒・転落の実態調査
中尾 幸子 (社会医療法人名古屋記念財団東海クリニック)
- 4-6-2 関節リウマチの患者背景と転倒リスク因子の変遷
中河 直輝 (鳥取大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野)
- 4-6-3 内視鏡的治療で鎮静薬を使用した患者に関わる看護師のアンケート調査から見えた今後の課題
名所 彩奈 (関西電力病院)
- 4-6-4 脳血管障害患者の転倒に関する要因の検討
中谷 光 (高岡市民病院)

病院の転倒と予防 3

座長：杉山 良子 パラマウントベッド株式会社技術開発部 主席研究員

- 4-7-1 当院における改変転倒リスクアセスメントシートの精度～認知関連行動アセスメント (CBA) に着目して～
牧 芳昭 (医療法人珪山会鶴飼リハビリテーション病院)
- 4-7-2 急性期病院における後期高齢者の転倒転落の特徴～機能的自立度評価法の下位項目に着目して～
井上 陽加 (藤田医科大学岡崎医療センターリハビリテーション部)
- 4-7-3 洛和会音羽リハビリテーション病院における KYT (危険予知トレーニング) ラウンドの取り組み
吉田 匠 (洛和会音羽リハビリテーション病院)
- 4-7-4 当院における転倒・転落に関する取り組みの現状と課題
西林 ゆかり (西宮市立中央病院)
- 4-7-5 介護施設における生活ケア戦略立案のための生活機能評価支援システム
島田 夏希 (東京工業大学工学院)

一般口演 8 16:30～17:30

115

アセスメント方法の開発・改訂

座長：平松 知子 金沢医科大学看護学部 教授

- 4-8-1 三菱京都病院における包括的な転倒転落対策の効果と課題
松下 侑太（三菱京都病院）
- 4-8-2 急性期病院の転倒・転落予防効果について～当院における転倒・転落発生率の推移を踏まえた検討～
小林 浩介（広島市立北部医療センター安佐市民病院リハビリテーション科）
- 4-8-3 当院における転倒転落アセスメントシートと転倒転落予測 AI システムとの比較検討
鈴木 亮馬（磐田市立総合病院リハビリテーション技術科）
- 4-8-4 急性期病院における入院患者の新しい転倒予測モデルの開発とその評価
齋藤 千紘（静岡県立総合病院看護部）
- 4-8-5 改訂版転倒転落アセスメントスコアシートの作成と妥当性の検討
西原 紫（鳥取大学医学部附属病院病棟 8 階 A）

第5会場 ●大会議室（東館3F）

ポスター1 13:00～13:30

119

新しい機器の開発・活用

座長：高野 渉 大阪大学数理・データ科学教育研究センター 特任教授

- 5-1-1 転倒検知 AI アプリの研究開発
高野 渉（大阪大学）
- 5-1-2 大腿骨骨折リスクに基づく床材安全性評価方法の改良～施工後の床材評価への活用～
渡邊 大樹（山梨大学安全医工学研究室）
- 5-1-3 転倒予防につなげる地域の介護予防事業の経験～歩行アシストの活用～
佐藤 健仁（佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科）
- 5-1-4 間取り情報グラフによる空間内移動情報の定量化
内山 瑛美子（東京大学）

ポスター2 13:00～13:30

123

転倒リスク評価の開発・応用1

座長：半田 秀一 公益財団法人身体教育医学研究所

- 5-2-1 日本における居住環境の転倒ハザードチェックリストの作成および評価者間信頼性と内容妥当性の検討
澤 龍一（順天堂大学保健医療学部）
- 5-2-2 多職種によるがん患者に対する転倒への捉え
油野 規代（福井医療大学）
- 5-2-3 立ち上がり動作に見守りが必要なアルツハイマー型認知症高齢者が安定して立ち上がることのできる動作の探索
大江 悠介（社会福祉法人柘野福祉会特別養護老人ホーム「ヴィラ上賀茂」）
- 5-2-4 回復期病棟における転倒予防に向けたベッドサイド環境設定に対する取り組み
塚田 智香（上尾中央総合病院）
- 5-2-5 恐怖心により予測的姿勢制御の障害をきたした大腿骨転子部骨折患者の一例～表面筋電図を用いた原因分析～
奥山 航平（東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション部）

ポスター 3 13:00～13:30

127

病院の転倒と予防 1

座長：森田 光生 千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部 療法士長

- 5-3-1 精神科病院の転倒による骨折の分析と課題
中野 ますみ (医療法人資生会八事病院)
- 5-3-2 身体拘束の実態調査～当院における課題と身体拘束低減にむけた取り組みの検討～
中村 友美 (社会医療法人財団大和会東大和病院)
- 5-3-3 当院外科疾患担当チームにおけるデバイス管理基準作成の取り組み
平井 稔 (AMG 上尾中央総合病院)
- 5-3-4 転倒転落後の重症転帰予防として導入したジョイントマットの効果検証
木下 裕太 (アルペンリハビリテーション病院理学療法科)
- 5-3-5 歩行時に頻発する膝折れにより歩行自立が困難であった大腿骨転子部骨折患者～心理面を考慮したり
リハビリテーションの試み～
鈴木 満里乃 (東京湾岸リハビリテーション病院リハビリテーション科)

ポスター 4 13:00～13:30

131

病院の転倒と予防 3

座長：田中 雅博 社会医療法人三和会りんくう永山病院リハビリテーション科 部長

- 5-4-1 多職種カンファレンスによる骨折事例に対する転倒転落防止対策の検討
加藤 万里代 (独立行政法人国立病院機構東名古屋病院看護部)
- 5-4-2 転倒・転落予防推進チームの活動と今後の課題
宮内 直哉 (石巻赤十字病院)
- 5-4-3 転倒リスクと身体拘束 (連結センサ含む) の要因～後ろ向き調査～
寺井 知代子 (心臓血管センター金沢循環器病院)
- 5-4-4 A 病棟における転倒調査報告～入院時 FIM に着目して～
岡田 史郎 (袋井市立聖隷袋井市民病院リハビリテーション室)
- 5-4-5 新型コロナウイルス感染症蔓延下における転倒・転落予防活動～入院時に説明動画を使用した取り組み～
加島 知明 (社会医療法人三和会永山病院リハビリテーション部)

地域在住高齢者の転倒と予防

座長：村山 明彦 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法専攻 准教授

- 5-5-1 地域でのフレイル予防を目的とした産学官連携の取り組み ~商業施設のイートインスペースを活用することの可能性~
村山 明彦 (群馬医療福祉大学)
- 5-5-2 地域在住高齢者の転倒予防のためのセルフケア行動と関連要因
内山 昌代 (浜松医科大学医学部看護学科)
- 5-5-3 整形外科クリニックにおける体操教室参加者の継続率向上に必要な要因についての検討
田中 律帆 (たちいり整形外科リハビリテーション科)
- 5-5-4 感染症流行下における行動制限が当院集団体操教室参加者の転倒リスクと身体機能に与える影響
万福 康平 (たちいり整形外科リハビリテーション科)
- 5-5-5 地域在住高齢者の起立能力と農作業内容および生活様式との関連
内山 明子 (佐久大学)

若年者等の転倒予防 1

座長：射場 靖弘 鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部

- 5-6-1 少年柔道教室での子どもロコモに関する取り組み~柔軟性改善に着目して~
大橋 礼明 (医療法人米田病院)
- 5-6-2 ビタミンD摂取量と骨密度の関係について
糸川 夏菜 (立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科)
- 5-6-3 人体に対するヨガの医学的効果~ヨガは転倒予防運動になりうるか~
井上 留美子 (整形外科ヨガ事務局)
- 5-6-4 小中学生の歩行姿勢改善プロジェクト「RainboW Walking」の活動報告
野澤 秀隆 (マイクロストーン株式会社)

ポスター 7 13:30 ~ 14:00

143

転倒リスク評価の開発・応用 2

座長：大坂 裕 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 准教授

- 5-7-1 二次元動画解析法による歩行指標は要支援要介護高齢者の転倒発生や理学療法士の臨床的判断を判別可能か？
大島 賢典（関西医科大学リハビリテーション学部）
- 5-7-2 スマートフォンアプリ Hacaro iTUG を用いて超高齢者のフレイルおよび歩行の特徴を捉える
星 真行（福島県立医科大学保健科学部理学療法学科）
- 5-7-3 多職種による住宅内の転倒リスク評価を目的としたアプリのプロトタイプ構築
今枝 秀二郎（株式会社日建設計総合研究所）
- 5-7-4 当院におけるセンサー選択フローチャートの運用について
渡邊 康介（イムス札幌消化器中央総合病院リハビリテーション科）
- 5-7-5 機械学習を用いた転倒動画からの3次元姿勢推定
森崎 望（信州大学大学院総合理工学研究科）

ポスター 8 13:30 ~ 14:00

147

施設・外来の転倒と予防

座長：油野 規代 福井医療大学保健医療学部看護学科 准教授

- 5-8-1 入所時の日常生活の可否から見た転倒高リスク者の把握方法の試み
澄川 幸志（福島県立医科大学）
- 5-8-2 HAL リハビリテーションと AFO 使用が転倒防止につながった筋萎縮性側索硬化症の1例
田中 玲（佐賀大学医学部附属病院先進総合機能回復センター）
- 5-8-3 施設入所者の転倒・転落ヒヤリハット報告が減少した要因の分析
池田 合希（介護老人保健施設ルミナス大府）
- 5-8-4 転倒を経験している虚弱要支援認定者の特徴
内山 圭太（金沢赤十字病院リハビリテーション科）
- 5-8-5 一般住宅と高齢者施設から救急要請された高齢者転倒患者の比較
上村 修二（札幌医科大学救急医学講座）

病院の転倒と予防 2

座長：奥泉 宏康 上田市武石診療所 所長

- 5-9-1 「いつでも・どこでも・だれでもロコモ予防外来」の取り組み～連携診療所としての役割と課題～
濱本 彩花（寺本整形外科・内科リエゾンクリニックリハビリテーション科）
- 5-9-2 当院における病棟活動性自立度判定チェックシート実践に関する報告～2022年度転倒者数と病棟別アンケート調査から～
大久保 勇紀（伊奈病院リハビリテーション技術科）
- 5-9-3 当院における骨粗鬆症リエゾンサービス介入患者の運動機能評価と内服薬について
本東 剛（独立行政法人国立病院機構金沢医療センター）
- 5-9-4 外出機会が多い超高齢者は大腿骨近位部骨折後の QOL 低下予防に有利となる
福島 斉（大東文化大学スポーツ・健康科学部）
- 5-9-5 転倒を主たる要因とした大腿骨近位部骨折，それを対象とした二次性骨折予防継続管理料新設における当院の取り組み
川北 整（石川県済生会金沢病院）

若年者等の転倒予防 2

座長：大江 厚 たちいり整形外科リハビリテーション部 総括部長

- 5-10-1 高齢者の疑似体験セットの有無による転倒時の加速度パラメーターに関する研究
廣田 音奏（兵庫県立大学大学院）
- 5-10-2 転倒予防を目的とした足関節背屈筋群の「ながらトレーニング」装置を使用した運動効果の検証
鷲塚 寛子（富山県立大学看護学部看護学科）
- 5-10-3 足踏みウォーキングメソッドの転倒予防効果～膝を 5cm 上げて歩こう～
千崎 英隆（ウェルネスプロジェクト株式会社）
- 5-10-4 ドイツにおける柔道の動作を利用した転倒予防の取り組みについて
曾我部 晋哉（甲南大学）
- 5-10-5 高齢透析患者の転倒予防への取り組み～試作靴下の有効性を検証する～
小林 圭一（桜翔会中辻医院）

ポスター 11 13:30～14:00

159

転倒リスク評価の開発・応用 3

座長：山之内 直也 佐賀県医療センター好生会リハビリテーション科 部長

- 5-11-1 脳血管疾患により生じた眼球運動障害に対する評価と介入の実践～複視改善と歩行自立への提案～
坂崎 純太郎（東京湾岸リハビリテーション病院）
- 5-11-2 外来患者の SIDE レベルと転倒、骨折の関係
黒田 歩（寺本整形外科・内科リエゾンクリニックリハビリテーション科）
- 5-11-3 社会福祉施設における転倒による頭部外傷や脳損傷等の労働災害分析
菅 知絵美（労働安全衛生総合研究所）
- 5-11-4 転倒転落インシデントデータを元にした転倒転落予防対策フローチャートの作成
谷口 民子（石川県済生会金沢病院看護部）
- 5-11-5 地域在住高齢者に対する新たな転倒リスク評価の提言～後期高齢者の質問票のスコアと転倒の関係～
村山 明彦（群馬医療福祉大学）

ポスター 12 13:30～14:00

163

病院の転倒と予防 4

座長：安延 由紀子 大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学

- 5-12-1 当院におけるリハビリテーション介入期間に転倒・転落が発生した事例の調査～看護師と協働での転倒予防の取り組みに向けて～
川本 成美（公立松任石川中央病院リハビリテーション室）
- 5-12-2 ポータブルトイレ使用時の注意喚起ポスター掲示に対する病棟看護師へのアンケート調査
射場 靖弘（鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部）
- 5-12-3 急性期病院における転倒予防の取り組み～入院案内パンフレットへの転倒リスクセルフチェックリストの導入～
中沢 稔（地方独立行政法人静岡市立静岡病院）
- 5-12-4 急性期病院における転倒・転落リスクに影響する要因
椿野 幸子（山形市立病院済生館安全管理室）
- 5-12-5 転倒転落予防対策としてのウォーキングカンファレンス導入の効果～看護師の実践能力の変化に焦点を当てて～
菅田 愛（地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立北部医療センター安佐市民病院）